（様式－3）

送電線工事災害　再発防止対策書

北海道支部

発生日時	令和 7年　2月17日（月曜日）　10時25分頃							天候	晴れ	
災害の程度	死亡　名	負傷　1名		職種　組立作業員			年令　26才		経験年数 1年	
工事の種類	調査測量	運搬	伐採	仮設	基礎	組立	足場	架線	撤去	その他
災害の種類	墜落 転落	感電	崩壊	倒壊	はさまれ 巻き込まれ	物の飛来 落下	切れ・こすれ		その他	
原因	作業準備の不良	作業方法の不良	工具・防具の不良	電気工作物の不良	作業者の過失	共同作業者の過失	その他			
設備	電圧　187kV		2回線	電線 240 mm2　1導体		地線 OPGW80mm2　1条 地線　mm2　条				

災害の状況	【件　名】
	鉄塔組立作業中、作業員のヘルメットにKトラス補助材が落下し負傷
	【作業内容】
	鉄塔組立作業
	【発生状況】
	Kトラス水平部材に、２本の補助材（アングル材）を１本のロープで袋縛りしていたが、吊上げ
	時の振動で水平部材の端部へ移動して、短い方の補助材が抜け落ち、下部のボルト固定箇所を
	支点として落下した補助材が被災者のヘルメットに接触し受傷した。
	【被災程度】
	脳震盪　入院２日、自宅療養１１日
	【防・保護具の使用状況】
	防寒着・安全帽・長靴・ゴム手袋
原因及び対策	【発生原因】
	＜人的要因＞
	① 地切り前に部材の固縛状況を確認していなかった。
	② 地切り後に吊り荷に触れていた。
	＜物的要因＞
	① 長さの違う2本の部材を１つのロープで固縛していたため短い方の部材が抜け落下した。
	② ロープを袋状にして部材を固縛していたため、カニクレーンで荷吊りした際、振動によりロープが
	横に移動し、部材が抜けて落下した。
	＜環境的要因＞
	① 入社3年未満の若年層作業員に対して危険箇所の指導が足りなかった。
	② 降雪により部材が滑りやすくなっていた。
	【再発防止対策】
	＜人的要因＞
	① 玉掛者は荷揚げ前に、しっかりと固縛状況を確認する。
	② 吊荷の玉掛者は地切り前に部材に介錯ロープを取付け、吊り荷から離れた位置で振れ止めを行う。
	＜物的要因＞
	① １つの部材に対し、１つのロープを使用する。
	② ロープが振動で移動しないよう、巻き付けて固縛する。
	＜環境的要因＞
	① 作業班長や作業責任者が若年層の作業員に対し、危険箇所を具体的に指導する。
	② 地切り前に部材の水分を拭き取る。
	【具体的な指導例】
	・状況に応じたロープの固縛方法の指導。
	・地切りの際はロープの固縛状況を確認してから荷揚げを行う等、直接現場で指導する。

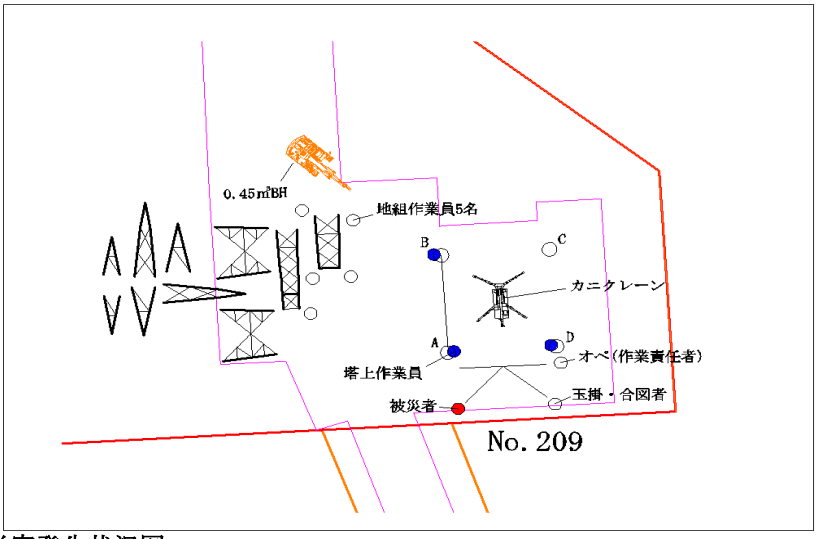
（注）1.　「人身災害報告要領」に基づいて記載するものとし、「工事の種類」　「災害の種類」　「原因」については該当項目に○印を付ける。

2.　災害状況の説明と共になるべく図面を添付すること（様式-2）。特に感電の場合は支持物、電線の離隔距離その他寸法を記入する。

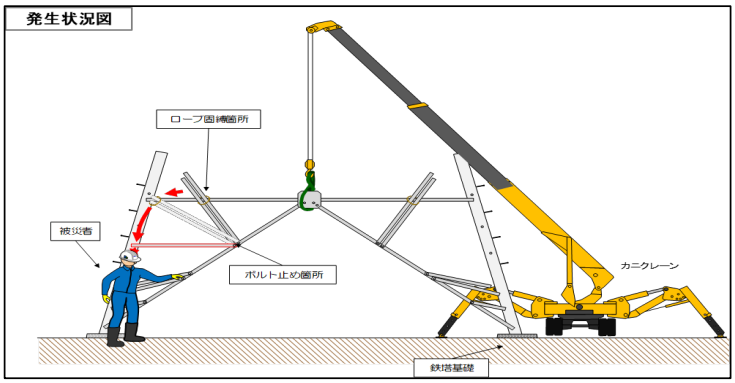
（様式－2）

災　害　概　要　図

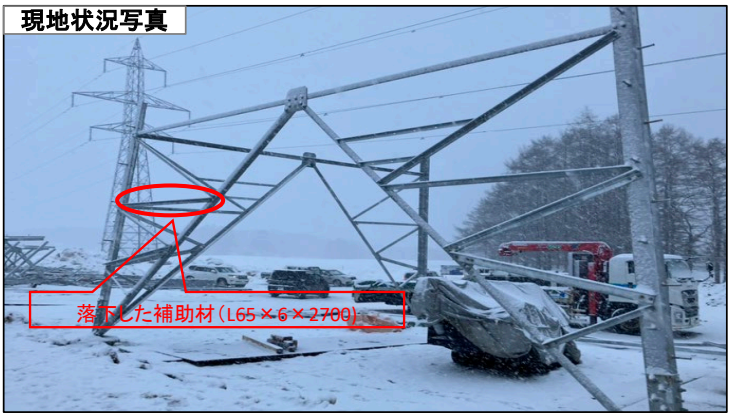
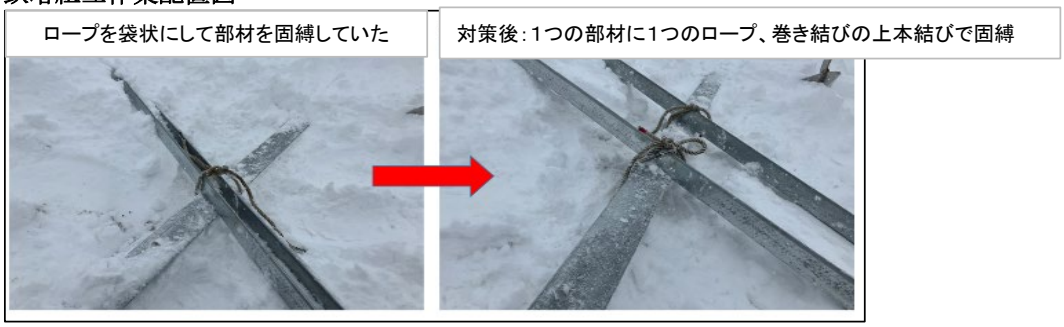
1．鉄塔組立作業配置図



2．災害発生状況図



3．鉄塔組立作業配置図



3．鉄塔組立作業配置図